

(案)

契 約 書

契約事項 タクシーサービス契約

国立大学法人千葉大学契約担当役事務局長 丸山 浩（以下「甲」という。）と〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（以下「乙」という。）との間において、次の条項により契約を締結するものとする。

- 第 1 条 契約期間は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日までとする。ただし、期間満了の 3 0 日前までに甲または乙からも書面による解約の意思表示がない場合は、同一条件で 1 年間更新されるものとし、その後も同様とする。
- 第 2 条 乙は、乗用自動車の配車を要求された場合は、要求する部局の指定する場所に迅速に配車するものとする。
- 第 3 条 乙は、営業時間内において、部局から配車の要求があったときは、正当な理由なく配車を拒否してはならない。
- 第 4 条 甲は、乙の乗用自動車を利用するときは、乙の発行した乗車券を使用するものとし、乙は乗車券受取時に日時、経路等が所定の欄に記入してあることを確認すること。また、乙は乗車券利用者に未収書を渡すこと。
- 第 5 条 タクシー料金は、関東運輸局の認可した料金のおりとする。但し、本契約期間中に関東運輸局の認可に基づく料金改正が生じた場合は、新料金に変更するものとする。
- 第 6 条 タクシー料金の請求書は、1 ヶ月分を取りまとめ、翌月に各部局の担当部署に、それぞれ送付するものとする。
- 第 7 条 タクシー料金は、適正な請求書を受領した日の翌月末日までに財務部経理課より支払うものとする。
- 第 8 条 甲の乗車中、乙の不注意等による交通事故等のため、甲に損害又は傷害を与えた場合は、乙は、損害賠償の責を負うものとする。
- 第 9 条 甲は、次の各号の 1 に該当するときは、何等の補償をなすことなく本契約を解除することができる。
1. 甲が 1 ヶ月前に書面で、本契約の解除を要求したとき。
 2. 乙が正当な理由により本契約の解除を要求し、甲がこれを承認したとき。
 3. 乙が本契約に定めた義務を履行しなかったとき、又は不正行為があったとき。
- 第 10 条 契約保証金は、免除する。
- 第 11 条 この契約について、甲・乙間に紛争を生じたときは、双方の同意する第三者に斡旋を依頼し解決を図るものとする。
- 第 12 条 この契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、甲・乙間において協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため、甲・乙は次に記名し印を押すものとする。
この契約書は 2 通作成し、双方で各 1 通所持するものとする。

令和 年 月 日

甲 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1 番 3 3 号
国立大学法人千葉大学
契約担当役 事務局長 丸山 浩

乙